

写真は風力発電所です。現在、日本の発電の多くを依存する(①) 発電に必要な石油などには限りがあります。風力は新しいエネルギー源として期待されているものの1つです。



ここが決め手

- 石油
- 石炭
- ▲ 鉄鉱石
- ◆ すす
- ボーキサイト
- ★ ウラン

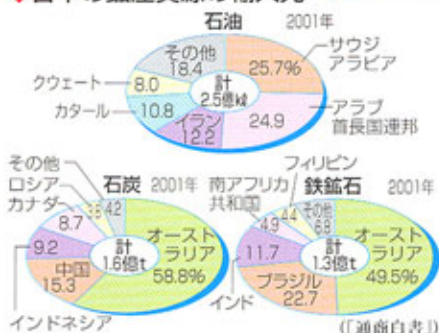
石油 ヘルシア湾を中心とする西アジアで多く産出する。

鉄鉱石 ロシア・ウクライナ・中国・オーストラリアなどに分布。

石炭 中国・インド・ロシア・ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリアなど広く分布。



◆日本の鉱産資源の輸入先



1 世界のエネルギー・鉱産資源

生産 アメリカ・中国・ロシアなどで大量に生産。

石油…西アジア、メキシコ湾岸、ロシアなど。

石炭…中国・アメリカ・インドなど。

鉄鉱石…中国・ブラジル・オーストラリアなど。

エネルギーの消費 アメリカ・カナダをはじめとする先進国と産油国が多い。

2 日本のエネルギー・鉱産資源

供給 大部分を外国からの輸入に依存。

石油…西アジア、インドネシア・中国などから。

石炭…オーストラリア・中国・インドネシアなどから。

鉄鉱石…オーストラリア・ブラジル・インドなどから。

電力 日本は火力・原子力・水力の順に多い。

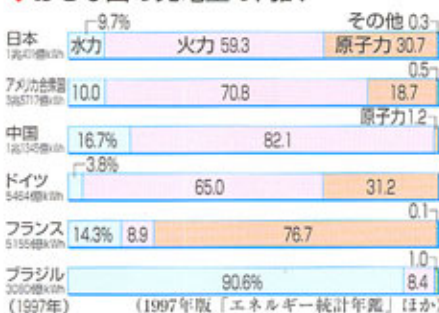
3 世界の中の日本の工業

特色 ①加工貿易で発達。②貿易摩擦により海外生産が増え産業の空洞化も。アジアニーズ(NIES)やアセアン(ASEAN)との競争も激化。

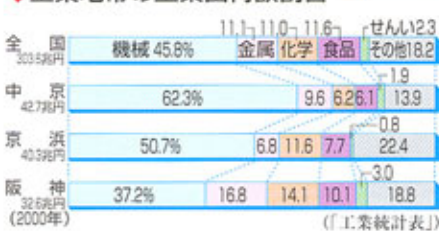
工業地帯・地域 多くは太平洋ベルトに集中しているが、精密機械やIC(集積回路)などの工場は内陸部に進出。



◆おもな国の発電量の内訳



◆工業地帯の工業出荷額割合



- ①加工貿易** 工業原料を輸入して加工した製品を輸出する貿易。資源を輸入にたよる日本や韓国などで行われている。
- ②貿易摩擦** 貿易をめぐる国家間の摩擦。日本はアメリカやEUなどに対して大幅な輸出超過となっているため生じている。これに対し日本は、外国に工場を建設し現地の人を雇って生産を行うなどしている。
- ③産業の空洞化** 貿易摩擦の解消や、安価な労働力を求めて海外に工場を移転する企業が増え、国内の産

見本

- 品が買ってしまうこと。失業率も上昇する。
- ④施設園芸農業** 温室やビニルハウスなどの施設を用いて行う農業。高知平野や宮崎平野の促成栽培、渥美半島の電照ぎくなどがこれにあたる。また近年では、果樹栽培でも施設を用いることが増えている。
- ⑤高冷地農業** 高原の冷涼な気候を生かして、低地と時期をずらして行われる農業。八ヶ岳・浅間山山ろくや群馬県嬬恋村などでさかん。こうして栽培されたキャベツやレタスなどは、高原野菜とよばれる。



4 世界の中の日本の農業

世界の三大穀物 米…アジア中心、小麦…世界各地（中国・インドなど）、とうもろこし…畜産のさかんな地域で生産。日本の農業の特色 稲作中心、小規模、兼業農家の増加など。農産物の輸入自由化 安価な輸入農産物→食料自給率の低下。日本の農業地域 耕地の半分以上が水田。

- 米…東北地方は日本の穀倉地帯→減反→銘柄米の生産。
野菜…大都市周辺で近郊農業、温暖地で施設園芸農業（促成栽培など）、高原で高冷地農業など。
果物…西日本でみかん、東日本でりんご。
畜産…北海道で酪農、シラス台地でぶた・肉牛・にわとり。

5 日本の林業

特色 古くから林業がさかんだが、近年は安い輸入材におされ生産量が減少。林業従事者も減少。

6 日本の水産業

特色 各国の200海里経済水域の設定で遠洋漁業の漁獲量が減少。とる漁業から育てる漁業（養殖・栽培漁業）へ。

7 第三次産業

第三次産業 金融・商業・運輸・サービス業など。現代の日本の経済活動の中心は第三次産業。
新しい商業 コンビニエンスストア、インターネット販売など。

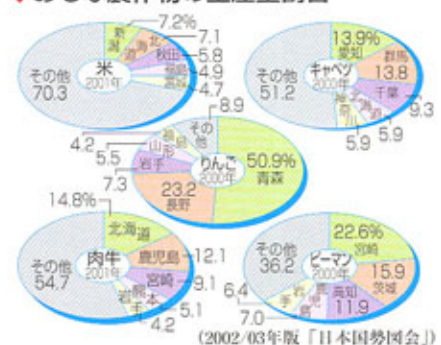
◆おもな漁港の水揚げ高



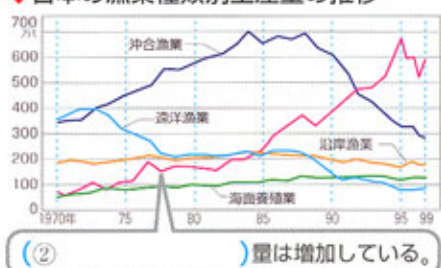
◆世界の三大穀物の生産地



◆おもな農作物の生産量割合



◆日本の漁業種類別生産量の推移



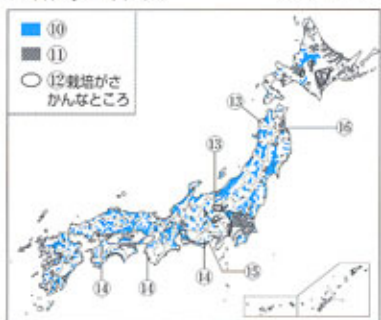


ここが決め手 ①～⑨にあてはまる語句を書け。 (2点×9)



- ① []
- ② []
- ③ []
- ④ [] 工業地帯
- ⑤ [] 工業地帯
- ⑥ [] 工業地帯
- ⑦ [] 工業地域
- ⑧ [] 工業地帯
- ⑨ [] 工業地域

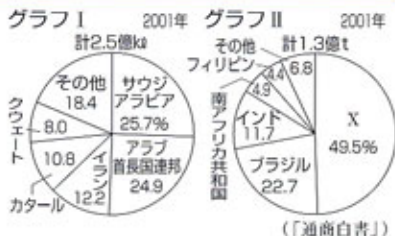
ここが決め手 ⑩～⑯にあてはまる語句を書け。 (4点×7)



- ⑩ []
- ⑪ []
- ⑫ []
- ⑬ []
- ⑭ []
- ⑮ []
- ⑯ [] 港

1 世界と日本の鉱産資源、工業 (3点×8)

- (1) グラフⅠは、ある鉱産資源の日本の輸入先を示している。あてはまる鉱産資源を左の地図中の①～③から選べ。 []
- (2) グラフⅡは、日本の鉄石の輸入先を示している。Xにあてはまる国名を書け。 []
- (3) 日本の工業は、原料を輸入して製品を輸出する貿易によって発展してきた。このような貿易を何というか。 []
- (4) 日本の輸出超過により、アメリカやEUとの間でおきている問題を何というか。 []
- (5) 企業の外国進出が進み、国内の産業が衰退してしまうことを何というか。 []
- (6) 左の地図中の④から⑨などの工業地帯・地域が帯状に連なっているところを何というか。 []
- (7) 日本最大の工業地帯を左の地図中の④～⑨から1つ選べ。 []
- (8) (6)とは対照的に、内陸部への進出が進んでいる工場は、製鉄所とIC工場のどちらか。 []



2 世界の中の日本の農林水産業、第三次産業 (3点×10)

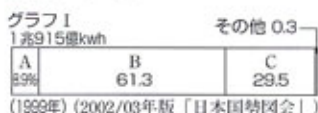
- (1) 世界の三大穀物とは何か。3つ書け。 [] [] []
- (2) 日本で増加している、農業以外の収入も得ている農家を何というか。 []
- (3) 次の文にあてはまる農業の種類を、それぞれ書け。
- ① 大都市周辺で、都市の人が消費する野菜や花などを生産する。
 - ② 高地の冷涼な気候を生かして野菜などを生産する。
- ① [] ② []
- (4) 右のグラフは、左の地図中の⑬の生産割合を示している。Xにあてはまる県名を書け。 []
- (5) 育てる漁業とは何か。2つ書け。 [] []
- (6) 金融・商業・サービス業などの産業を何というか。 []



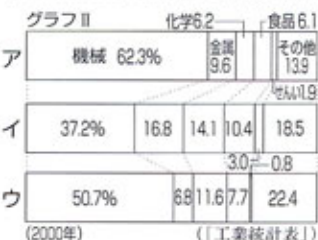


1 次の問いに答えなさい。〈4点×3〉

- (1) グラフ I は、日本の発電量の内訳を示している。水力発電にあてはまるものを A～C から選べ。〔 〕



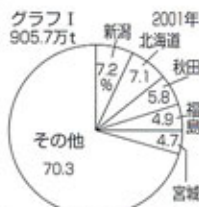
- (2) グラフ II は、京浜、中京、阪神いずれかの工業地帯の出荷額割合を示している。アにあてはまる工業地帯名を書け。〔 工業地帯〕



- (3) 文章記述 I C 工場の立地条件を、「空港」「高速道路」の語句を用いて簡単に書け。〔 〕

2 次の問いに答えなさい。〈4点×4〉

- (1) グラフ I にあてはまる農産物名を書け。〔 〕



- (2) 次の文の()にあてはまる語句を書け。

日本は食料の多くを輸入

にたよっており、

()は他の先

進国と比べてい

ちじるしく低い。

〔 〕

- (3) グラフ II は、

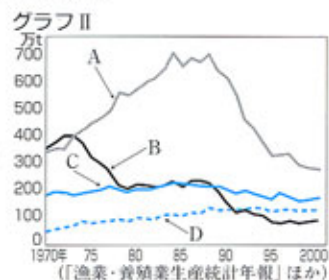
日本の漁業種類

別生産量の推移を示している。

① 遠洋漁業、②

養殖業にあてはまるものを A～D から1つずつ

選べ。①〔 〕 ②〔 〕



C

自信をつける



3 右の地図を見て、問いに答えなさい。

(岩手改・山形・青森・山口・鳥取・岡山) 〈8点×9〉

- (1) 地図中の●が示す発電所の種類を書け。〔 〕

- (2) 右の表中のア～エは、地図中の A～D いずれかの県を示している。ア～エにあてはまる県を、A～D から1つずつ選べ。

ア〔 〕 イ〔 〕

ウ〔 〕 エ〔 〕

- (3) グラフ I は、日本が木材を輸入しているおもな国とその輸入額の割合を示している。X にあてはまる国を、次の1～4 から1つ選べ。〔 〕

1 中国 2 ブラジル 3 マレーシア 4 オーストラリア

- (4) グラフ II は、地図中に 〇 で示した4つの県の農業生産額の内訳である。グラフ中の b の県名を書け。〔 〕

- (5) 文章記述 地図中の E の地域では、暖かい気候とビニルハウスなどを利用した大都市向けの野菜の栽培がさかんである。その理由を、「出荷時期」「価格」の語句を用いて答えよ。〔 〕

- (6) 文章記述 1970年代の後半以降、日本漁船の操業に対する各国の規制がきびしさを増す中で、日本の漁業はどのように変わってきたか、簡単に説明せよ。〔 〕

	工業出荷額(億円)			人口(万人)
	石油製品・石炭製品	鉄鋼	精密機器	
ア	360	5909	136	502
イ	109	406	3480	221
ウ	8170	6142	293	195
エ	36	57	984	89

(2002年版「県勢」)

グラフ I 計2622万m³ 2000年

	ロシア	カナダ	アメリカ合衆国	X	その他
	23.5%	21.3	17.8	9.8	28.3

(2002/2003年版「日本国勢国会」)

